

国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業

見積参考資料

令和5年9月

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

この「見積参考資料」は、本事業の現場条件等を考慮し標準的な事業内容等を参考に示した資料であり、契約図書ではない。従って「見積参考資料」は事業契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法、地質条件等を十分考慮して、工事、維持管理等、事業目的を完成・維持するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

資料一覧

1. 見積参考資料（工事業務）
2. 見積参考資料（維持管理業務）

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）

北海道開発局
札幌開発建設部

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝		式		1					
仮設工		式		1					
路面覆工		式		1					
覆工板 (夜間)	1000×2000, 1000×3000 設置・撤去	m2		1,464		< 1 m2当り > 覆工板設置・撤去(覆工板設置面積700m2を超える) 作業区分=設置・撤去; ラフテレックレン賃料補正=標準以外; ラフテレックレン賃料補正(実数入力)=1.23 無;	m 2	1	
覆工板受桁 (夜間)	H300, H350 設置・撤去	t		7.2		< 1 t当り > 覆工板受桁設置・撤去(覆工板設置面積700m2を超える) 作業区分=設置・撤去; ラフテレックレン賃料補正=標準以外; ラフテレックレン賃料補正(実数入力)=1.23 無;	t	1	
覆工板設置・撤去[電線共同溝] (夜間)	1000×2000, 1000×3000 (開閉作業)	m2		65,640		< 1 m2当り > 覆工板設置・撤去	m 2	1	
覆工板 賃料・修理費損耗費	覆工板 1000×3000×200 供用日数17.9ヶ月 N=55回	m2		24		< 1 m2当り > 覆工板賃料 仮設材区分=覆工板(鋼製 補強型); 供用月数(実数入力)=17.9 月; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の計上=有; 一現場での使用回数(実数入力)=55回;	m 2	1	
覆工板 賃料・修理費損耗費	覆工板 1000×2000×200 供用日数1.2ヶ月 N=18回	m2		8		< 1 m2当り > 覆工板賃料 仮設材区分=覆工板(鋼製 補強型); 供用月数(実数入力)=1.2 月; 継続工事の有無=無; 修理費及び損耗費の計上=有; 一現場での使用回数(実数入力)=18回;	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
覆工板受桁 賃料・修理費損耗費	覆工鋼材 H300×300×10×15 賃料 日数509日 N=37回	t		2.4		< 1 t当り > 山留材賃料 火打ブロックの有無=無； 供用日数(実数入力)=509 日； 継続工事の有無=無； 主部材修理費及び損耗費の計上=有； 副部材(A)の修理費及び損耗費の計上=無； 副部材(B)の修理費及び損耗費の計上=無； 山留材の一現場での使用回数(実数入力)=37 回/現場；	t	1	
覆工板受桁 賃料・修理費損耗費	覆工鋼材 H350×350×12×19 賃料 日数36日 N=18回	t		4.8		< 1 t当り > 山留材賃料 火打ブロックの有無=無； 供用日数(実数入力)=36 日； 継続工事の有無=無； 主部材修理費及び損耗費の計上=有； 副部材(A)の修理費及び損耗費の計上=無； 副部材(B)の修理費及び損耗費の計上=無； 山留材の一現場での使用回数(実数入力)=18 回/現場；	t	1	
土留・仮締切工		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝) (夜間)	II型 設置・撤去	m		6,336		< 1 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去	m	1	
軽量鋼矢板 賃料・修理費損耗費	II型 H=2.0m 賃料 日数255日	t		2.6		< 1 t当り > 軽量鋼矢板賃料 軽量型 II型 H=2.0m 360日以内 鋼矢板修理費及び損耗費 軽量型 補助工法無	t・日 t	255 2.75	
軽量鋼矢板 賃料・修理費損耗費	II型 H=2.5m 賃料 日数138日	t		1.1		< 1 t当り > 軽量鋼矢板賃料 軽量型 II型 H=2.5m 180日以内 鋼矢板修理費及び損耗費 軽量型 補助工法無	t・日 t	138 2.75	
軽量鋼矢板 賃料・修理費損耗費	II型 H=3.0m 賃料 日数17日	t		3.9		< 1 t当り > 軽量鋼矢板賃料 軽量型 II型 H=3.0m 90日以内 鋼矢板修理費及び損耗費 軽量型 補助工法無	t・日 t	17 2.75	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
切梁・腹起し (夜間)	設置・撤去	t		139.6		< 1 t当り > 切梁・腹起し設置・撤去 作業区分=設置・撤去；火打ブロックの有無=無；ラフテレン クレーン賃料補正=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正(実数 入力)=1.23 無；	t	1	
切梁・腹起し 賃料・修理費損耗費	H300×300×10×1 5 賃料日数536日 N=55回	t		1.3		< 1 t当り > 山留材賃料 火打ブロックの有無=無；供用日数(実数入力)=536 日； 継続工事の有無=無；主部材修理費及び損耗費の計 上=有；副部材(A)の修理費及び損耗費の計上=有； 副部材(B)の修理費及び損耗費の計上=有；山留材の 一現場での使用回数(実数入力)=55 回/現場；	t	1	
腹起し材 損料	□150×6 N=1年未 満	t		1.2		< 1 t当り > 腹起し損料 □150×6 N=1年未満	t	1	
腹起し材 損料	□175×6 N=6ヶ月 未満	t		1.4		< 1 t当り > 腹起し損料 □175×6 N=6ヶ月未満	t	1	
腹起し材 損料	□175×6 N=3ヶ月 未満	t		0.7		< 1 t当り > 腹起し損料 □175×6 N=3ヶ月未満	t	1	
水圧ポート 賃料・基本料	調整範囲450～650 mm アルミ製 賃料日 数43日	本		6		< 1 本当り > 水圧ポート賃料 調整範囲450～650mm アルミ製 水圧ポート基本料 調整範囲450～650mm アルミ製	本・日 本・回	43 1	
ミドルポート 賃料・基本料	調整範囲600～950 mm 賃料日数305日	本		6		< 1 本当り > ミドルポート賃料 調整範囲600～950mm ミドルポート基本料 調整範囲600～950mm	本・日 本・回	305 1	
ミドルポート 賃料・基本料	調整範囲600～950 mm 最低保障30日	本		3		< 1 本当り > ミドルポート賃料 調整範囲600～950mm ミドルポート基本料 調整範囲600～950mm	本・日 本・回	30 1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
ミッドポート 賃料・基本料	調整範囲900～1500mm 賃料日数60日	本		6		< 1 本当り > ミッドポート賃料 調整範囲900～1500mm ミッドポート基本料 調整範囲900～1500mm	本・日 本・回	60 1	
ミッドポート 賃料・基本料	調整範囲900～1500mm 最低保障30日	本		3		< 1 本当り > ミッドポート賃料 調整範囲900～1500mm ミッドポート基本料 調整範囲900～1500mm	本・日 本・回	60 1	
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員 (夜間)	A	人日		190		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A	人日	1	
交通誘導警備員 (夜間)	B	人日		570		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B	人日	1	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破砕工		式		1					
舗装版切断 (夜間)	アスファルト舗装版 舗装版厚15cm以下	m		7,460		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
舗装版切断 (夜間)	アスファルト舗装版 舗装版厚30cmを超え40cm以下	m		1,700		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=30cmを超え40cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
舗装版破砕 [電線共同溝](夜間)	アスファルト舗装版 舗装版厚15cm以下	m2		4,390		< 1 m2当り > 舗装版破砕積込	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
舗装版破碎 (夜間)	アスファルト舗装版 舗装版厚15cmを超え35cm以下 騒音振動対策必要	m2		1,060		< 1 m2当り > 舗装版破碎 舗装版種別=アスファルト舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cmを超え35cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
殻運搬 [電線共同溝](夜間)	アスファルト殻 運搬距離 6.0km以下 DID有	m3		526		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝） 積載区分=アスファルト塊; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=6.0km以下;	m 3	1	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	t		1,210		< 1 t当り > 処分費（t）【12 東亜道路工業(株)】アスファルト殻 夜間	t	1	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削 [電線共同溝](夜間)	土砂	m3		8,400		< 1 m3当り > 床掘り	m 3	1	
土砂等運搬 [電線共同溝](夜間)	土砂 L=6.0km以下 DID有 現場～仮置場	m3		8,400		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=6.0km以下;	m 3	1	
埋戻し工		式		1					
埋戻し・締固め (夜間)	土砂(発生土)	m3		1,200		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=土砂;	m 3	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋戻し・締固め (夜間)	中埋砂(路盤砂)【 P-13札幌】	m3		4,100		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	m3	1	
残土処理工		式		1					
積込(ルース) (夜間)	土砂 土量50,000m 3未満 現場～仮置 場	m3		1,400		< 1 m3当り > 積込(ルース) 土質=土砂; 作業内容=土量50,000m3未満;	m3	1	
積込(ルース)	土砂 土量50,000m 3未満 仮置場～最 終置場	m3		5,400		< 1 m3当り > 積込(ルース) 土質=土砂; 作業内容=土量50,000m3未満;	m3	1	
土砂等運搬 (夜間)	土砂 運搬距離 6. 0km以下 DID有 現 場～仮置場	m3		1,400		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種・規格=バックホ山積0 .8m3(平積0.6m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有) =6.0km以下;	m3	1	
土砂等運搬	土砂 運搬距離 31 .5km以下 DID有 仮置場～最終置場	m3		5,400		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種・規格=バックホ山積0 .8m3(平積0.6m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有) =31.5km以下;	m3	1	
整地	残土受け入れ地での 処理	m3		5,400		< 1 m3当り > 整地 作業区分=残土受け入れ地での処理;	m3	1	
電線共同溝工		式		1					

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路 (夜間)	角型FEP管 径 130 mm	m		7,000		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	角型FEP管 径 100 mm	m		2,000		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	RR-VE 径 82mm	m		3,000		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	RR-VE 径 54mm	m		4,000		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	フリアkses-V管 径 1 50mm	m		1,000		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	P-V管 径 75mm	m		192		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	P-V管 径 50mm	m		147		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)【施工見積】	MCCP(PLC)管(北電 仕様) ユニョイント 付 径 125mm	m		153		< 1 m当り > 管路材設置【施工見積】 埋設部 単管設置(鋼管) 50 ~125mm 電力ケーブル管 MCCP(PLC) 125A直管ユニ ョイント付北電仕様	m	1	
							m	1.05	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路 (夜間)【施工見積】	MCCP(PLC)管(北電仕様) エシ ^o イント付 径 80mm	m		12		< 1 m当り > 管路材設置【施工見積】 埋設部 単管設置(鋼管) 50~125mm 電力ケーブル管 MCCP (PLC) 80A直管エシ ^o イント付 北電仕様	m	1	
埋設管路 (夜間)	波付硬質ポリエチレン電線管(FEP) 径 80mm	m		475		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	
埋設管路 (夜間)	波付硬質ポリエチレン電線管(FEP) 径 50mm	m		1,292		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	
埋設管路 (夜間)	角型FEP管 R=5.0m 径 130mm	m		1,000		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
埋設管路 (夜間)	角型FEP管 R=3.0m 径 130mm	m		62		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
埋設管路 (夜間)	角型FEP管 R=5.0m 径 100mm	m		522		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
埋設管路 (夜間)	角型FEP管 R=3.0m 径 100mm	m		10		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
埋設管路 (夜間)	角型FEP管 R=1.0m 径 100mm	m		407		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	1	
埋設管路 (夜間)	RR-VE R=5.0m 径 82mm	m		857		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	
埋設管路 (夜間)	RR-VE R=3.0m 径 82mm	m		39		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=単管設置;	m	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路 (夜間)	RR-VE R=5.0m 径 54mm	m		951		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	RR-VE R=3.0m 径 54mm	m		20		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	フリーアクセス-V管 R=5.0m 径 150mm	m		179		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	P-V管 R=5.0m 径 75mm	m		6		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
埋設管路 (夜間)	P-V管 R=5.0m 径 50mm	m		60		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1	
露出管路(立上部) (夜間) 【施工見積】	SGP鋼管(北電仕様) 径 125mm	m		94		< 1 m当り > 管路材設置【施工見積】 露出部 単管設置(鋼管) 50 ～125mm SGP管 125A 直管 北電仕様	m m	1 1.05	
露出管路(立上部) (夜間) 【施工見積】	SGP鋼管(北電仕様) 径 80mm	m		17		< 1 m当り > 管路材設置【施工見積】 露出部 単管設置(鋼管) 50 ～125mm SGP管 80A 直管 北電仕様	m m	1 1.05	
露出管路(立上部) (夜間) 【施工見積】	ケーブル保護用合成 樹脂被覆鋼管(ポリエチレンインク鋼管) 径 82mm	m		39		< 1 m当り > 管路材設置【施工見積】 露出部 単管設置(鋼管) 50 ～125mm ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管 ポリエチレンインク鋼管 82mm	m m	1 1.05	
露出管路(立上部) (夜間) 【施工見積】	ケーブル保護用合成 樹脂被覆鋼管(ポリエチレンインク鋼管) 径 54mm	m		16		< 1 m当り > 管路材設置【施工見積】 露出部 単管設置(鋼管) 50 ～125mm ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管 ポリエチレンインク鋼管 54mm	m m	1 1.05	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路(立上部) (夜間) 【施工見積】	MCCP(PLC)管(北電仕様) エンジョイント付 R=5.0m 径 125mm	m		136		< 1 m当り > 管路材設置【施工見積】 埋設部 単管設置(鋼管) 50~125mm 電力ケーブル管 MCCP(PLC) 125A直管エンジョイント付北電仕様	m	1	1.05
埋設管路(立上部) (夜間) 【施工見積】	MCCP(PLC)管(北電仕様) エンジョイント付 R=5.0m 径 80mm	m		24		< 1 m当り > 管路材設置【施工見積】 埋設部 単管設置(鋼管) 50~125mm 電力ケーブル管 MCCP(PLC) 80A直管エンジョイント付 北電仕様	m	1	1.05
埋設管路(立上部) (夜間) 【施工見積】	PLP-P2S管 エンジョイント付 R=1.6m 径 125mm	m		85		< 1 m当り > 管路材設置【施工見積】 埋設部 単管設置(鋼管) 50~125mm PLP-P2S管 エンジョイント付 125A×5,500mm(北電仕様)	m	1	1.05
埋設管路(立上部) (夜間) 【施工見積】	PLP-P2S管 エンジョイント付 R=1.6m 径 80mm	m		15		< 1 m当り > 管路材設置【施工見積】 埋設部 単管設置(鋼管) 50~125mm PLP-P2S管 エンジョイント付 80A×5,500mm(北電仕様)	m	1	1.05
露出管路(立上部) (夜間) 【施工見積】	UC-PS(NTT仕様) 90° 曲管 管路長5,120mm 径 75mm	m		36		< 1 m当り > 管路材設置【施工見積】 露出部 単管設置(鋼管) 50~125mm UC-PS管 φ75×5120 90° 曲管	m	1	1.05
露出管路(立上部) (夜間) 【施工見積】	UC-PS(NTT仕様) 90° 曲管 管路長4,835mm 径 50mm	m		218		< 1 m当り > 管路材設置【施工見積】 露出部 単管設置(鋼管) 50~125mm UC-PS管 φ50×4835 90° 曲管	m	1	1.05
鋼管曲げ加工費 (夜間) 【施工見積】	100A~125A R=3.0~5.0m	箇所		40		< 1 箇所当り > 鋼管曲げ加工費【施工見積】 100A~125A R=3.0~5.0	箇所	1	
鋼管曲げ加工費 (夜間) 【施工見積】	100A~125A R=1.0~1.6m	箇所		34		< 1 箇所当り > 鋼管曲げ加工費【施工見積】 100A~125A R=1.0~1.6m	箇所	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
鋼管曲げ加工費 （夜間） 【施工見積】	50A～80A R=3.0～ 5.0m	箇所		8		< 1 箇所当り > 鋼管曲げ加工費【施工見積】 50A～80A R=3.0～5.0m	箇所	1	
鋼管曲げ加工費 （夜間） 【施工見積】	50A～80A R=1.0～ 1.6m	箇所		6		< 1 箇所当り > 鋼管曲げ加工費【施工見積】 50A～80A R=1.0～1.6m	箇所	1	
ダクトスリーブ （材料費）	フリーアクセス-V管 φ15 0	個		118		< 1 個当り > フリーアクセス-V管 ダクトスリーブ φ150	個	1	
ダクトスリーブ （材料費）	RR-VE管 呼径82 I型	個		381		< 1 個当り > 通信ケーブル管 RR-VE 呼径82 ダクトスリーブI型	個	1	
ダクトスリーブ （材料費）	RR-VE管 呼径54 I型	個		469		< 1 個当り > 通信ケーブル管 RR-VE 呼径54 ダクトスリーブI型	個	1	
ダクトスリーブ （材料費）	P-V管 呼径75	個		9		< 1 個当り > 通信ケーブル管 P-V 呼径75 ダクトスリーブ	個	1	
ベルマウス （材料費）	波付硬質電線管用 付属品(FEP用) 80 mm	個		15		< 1 個当り > 波付硬質電線管用付属品（FEP用）ベルマウス 80mm	個	1	
ベルマウス （材料費）	波付硬質電線管用 付属品(FEP用) 50 mm	個		73		< 1 個当り > 波付硬質電線管用付属品（FEP用）ベルマウス 50mm	個	1	
防水栓 （材料費）	φ150	個		88		< 1 個当り > 防水栓 φ150	個	1	
防水栓 （材料費）	呼径130	個		2		< 1 個当り > 防水栓 呼径130	個	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
防水栓 (材料費)	呼径82	個		223		< 1 個当り > 防水栓 呼径 8 2	個	1	
防水栓 (材料費)	呼径54	個		383		< 1 個当り > 防水栓 呼径 5 4	個	1	
管路受台 (材料費)	φ150×P220 1A	個		744		< 1 個当り > 管路受台 φ150×P220 1A	個	1	
管路受台 (材料費)	呼径130	個		288		< 1 個当り > 管路受台 呼径130	個	1	
管路受台 (材料費)	呼径82	個		4,645		< 1 個当り > 管路受台 呼径82	個	1	
管路受台 (材料費)	呼径54	個		6,548		< 1 個当り > 管路受台 呼径54	個	1	
共用FA分岐管 (材料費)	φ150×φ75	個		74		< 1 個当り > 共用FA分岐管 φ150×φ75	個	1	
引込分散継手 (材料費)	PV75/PV50×2+PV25×2	個		80		< 1 個当り > 引込分散継手 PV75/PV50×2+PV25×2	個	1	
異種管継手 (材料費)	FEPφ125～鋼管125A	組		34		< 1 組当り > 波付硬質電線管用付属品（FEP用）異種管接続材料 125mm	組	1	
異種管継手 (材料費)	RR-VEφ82～鋼管80A	個		6		< 1 個当り > 異種管継手 VEφ82～PLP80A	個	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
異種管継手 (材料費)	波付硬質電線管用 付属品(FEP用) 80 mm(H型)	組		15		< 1 組当り > 波付硬質電線管用付属品 (FEP用) 異種管接続材 料 (H型) 80mm	組	1
異種管継手 (材料費)	波付硬質電線管用 付属品(FEP用) 50 mm(H型)	組		6		< 1 組当り > 波付硬質電線管用付属品 (FEP用) 異種管接続材 料 (H型) 50mm	組	1
異種管継手 (材料費)	PL-PS~P-V管 D継 手 φ75	個		7		< 1 個当り > 異種管継手 P-Vφ75~UC-PS75AD継手(連系立上げ)	個	1
異種管継手 (材料費)	PL-PS~P-V管 D継 手 φ50	個		45		< 1 個当り > 異種管継手 P-Vφ50~UC-PS50AD継手(連系立上げ)	個	1
異種管継手 (材料費)	PLP-P2S φ125A~P LC φ125A 北電仕 様	個		34		< 1 個当り > 異種管継手 PLP-P2S125A~MCCP(PL C)125A	個	1
直線継手 (材料費)	波付硬質電線管用 付属品(FEP用) 直 線接続材料(テーピ ング) 80mm	組		15		< 1 組当り > 波付硬質電線管用付属品 (FEP用) 直線接続材料 (テーピング) 80mm	組	1
直線継手 (材料費)	波付硬質電線管用 付属品(FEP用) 直 線接続材料(テーピ ング) 50mm	組		6		< 1 組当り > 波付硬質電線管用付属品 (FEP用) 直線接続材料 (テーピング) 50mm	組	1
支持・自在バンド (材料費)	2号B	個		80		< 1 個当り > 支持・自在バンド 2号B	個	1
支持・自在バンド (材料費)	IBT-315	個		146		< 1 個当り > 自在バンド IBT-315	個	1
立上キャップ (材料費)	φ125	個		34		< 1 個当り > 立上キャップ φ125	個	1

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
立上キャップ (材料費)	φ82	個		28		< 1 個当り > 立上キャップ φ82	個	1	
立上キャップ (材料費)	φ50	個		51		< 1 個当り > 立上キャップ φ50	個	1	
埋設表示シート (材料費)	300mm幅 2倍 水抜 孔3孔	m		4,011		< 1 m当り > 埋設表示シート (材料費)	m	1	
埋設表示シート (材料費)	400mm幅 2倍 水抜 孔5孔	m		3,242		< 1 m当り > 埋設表示シート (材料費)	m	1	
埋設表示シート (材料費)	600mm幅 2倍 水抜 孔7孔	m		80		< 1 m当り > 埋設表示シート (材料費)	m	1	
引込管路表示板設置 (夜間) 【施工見積】	アルミ製埋設標(コンクリ ート部用) t=1mm×7 5×75mm埋設プレート ボルト4本付	枚		184		< 1 枚当り > 引込管路表示板設置【施工見積】 アルミ製埋設標 t=1mm×75×75mm 埋設プレート ボルト4本付	枚 枚	1 1	
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1					

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (夜間)	I型地上機器樹(函型) 内空1300×1800×3300-B 再生骨材80mm級【R-1札幌】	箇所		10		プレキャストボックスブロック設置	個	30	
						ボックス*ロック1個当り質量=1000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無;			
						プレキャストボックスブロック設置	個	20	
						ボックス*ロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無;			
						プレキャストボックスブロック設置	個	20	
						ボックス*ロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無;			
						モルタル練	m ³	1.2	
						セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;			
						基礎砕石	m ²	68.4	
						砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下; 砕石の種類=砕石(各種); 費用の内訳=全ての費用;			
						I型地上機器樹 函型 付属品含む W1.30×H1.80×L3.0	基	10	
						プレキャストベース板 埋込インサート・連結プレート等含む t=10cm	k g	17,100	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事						
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項							
						名称	単位	数量					
プレキャストボックス (夜間)	I型地上機器樹(函型) 内空1300×1800×3400-B 再生骨材80mm級【R-1札幌】	箇所		7		< 10 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無; プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無; プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下; 砕石の種類=砕石(各種); 費用の内訳=全ての費用; I型地上機器樹 函型 付属品含む W1.30×H1.80×L3.40 B プレキャストベース板 埋込ボルト・連結プレート等含む t=10cm							
						個	30	個	20	個	20	m ³	1.2
プレキャストボックス (夜間)	I型地上機器樹(門型) 内空1300×1800×5200-A 再生骨材80mm級【R-1札幌】	箇所		1		< 10 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無; 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下; 砕石の種類=砕石(各種); 費用の内訳=全ての費用; I型地上機器樹 門型 付属品含む W1.30×H1.80×L5.20 A							
						個	60	m ²	119.6	基	10		

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
プレキャストボックス （夜間）	I型地上機器樹（ 函型）内空1300× 1800×5400-B 再 生骨材80mm級【R- 1札幌】	箇所		5		< 10 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックス*ロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.23 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックス*ロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.23 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックス*ロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.23 無； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下；砕石の種類= 砕石(各種)；費用の内訳=全ての費用； I型地上機器樹 函型 付属品含む W1.30×H1.80×L5. 40 B プレキャストベース板 埋込ボルト・連結プレート等含む t=10cm	個	40
							個	20
							個	30
							m ³	1.8
							m ²	106.2
							基	10
							kg	26,550

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス (夜間)	II型通信接続樹(門型) 内空1200×1500×3000-A 再生骨材80mm級【R-1札幌】	箇所		4		< 10 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックス*ロック1個当り質量=1000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無; プレキャストボックスブロック設置 ボックス*ロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無; プレキャストボックスブロック設置 ボックス*ロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無; 基礎碎石 碎石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下; 碎石の種類=碎石(各種); 費用の内訳=全ての費用; II型通信接続樹 門型 付属品含む W1.20×H1.50×L3.00 A	個	20	
			個	20					
			個	10					
			m ²	70.3					
						基	10		

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事											
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項												
						名称	単位	数量										
プレキャストボックス （夜間）	II型通信接続樹（ 函型）内空1200× 1500×3000-B 再 生骨材80mm級【R- 1札幌】	箇所		11		< 10 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.23 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.23 無； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； 基礎砕石 砕石の厚さ=17.5cmを超え20.0cm以下；砕石の種類= 砕石(各種)；費用の内訳=全ての費用； II型通信接続樹 函型 付属品含む W1.20×H1.50×L3. 00 B プレキャストベース板 埋込インサート・連結プレート等含む t=10cm	個	10	個	40	m ³	1	m ²	59.5	基	10	kg	14,880
プレキャストボックス （夜間）	蓋部中間樹 φ750 (t=125mm) H=450 mm	箇所		20		< 1 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃 料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実 数入力)=1.23 無； 蓋部中間樹 φ750(t=125mm)	個	1	個	1								
プレキャストボックス （夜間）	地上機器部中間樹 開口寸法1240×5 50 H=700mm	箇所		18		< 1 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃 料補正係数(実数入力)=1.23 無； 地上機器部中間樹 開口寸法1240×550	個	1	個	1								

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事			
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス (夜間)	地上機器部中間柵 開口寸法1600×550 H=700mm	箇所		28		< 1 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無; 地上機器部中間柵 開口寸法1600×550	個	1	個	1
プレキャストボックス (夜間)	地上機器部中間柵 開口寸法1900×550 H=700mm	箇所		12		< 1 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無; 地上機器部中間柵 開口寸法1900×550	個	1	個	1
管路表示板 (材料費)	ケーブル収容表示板 t=3mm A4版 アクリル製	枚		111		< 1 枚当り > ケーブル収容表示板 t=3mm A4版 アクリル製	枚	1		
蓋 (夜間)	T-14 二重ロック構造 開発局ロゴ入り 受枠含む φ750	組		20		< 1 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; 蓋(材料費)	組	1	組	1
プレキャストボックス (夜間)	分岐柵 標準タイプ W600×H900×L1200 t=100mm 再生骨材80mm【R-1札幌】	個		1		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無; 基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下; 砕石の種類=砕石(各種); 費用の内訳=全ての費用; プレキャストボックス 分岐柵 t100mm W600×H900×L1,20 立金物 L380 4本 プレリンクフック 1 個含む	個	10	m ²	14.4
							個	10		

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
蓋 (夜間)	T-14 二重ロック構造 開発局ロゴ入り 受枠含む 600×1200	組		1		蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 蓋 (材料費)	組	1	
閉塞工		式		1					
モルタル練(閉塞部) (夜間)	高炉1:3	m3		7		< 1 m3当り > モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;	m 3	1	
コンクリート(閉塞部) (夜間)	混合B種 C-10【A-1札幌】	m3		16		< 1 m3当り > コンクリート 構造物種別=小型構造物; 打設工法=人力打設; コンクリート規格=各種; 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用;	m 3	1	
コンクリート夜間割増	閉塞コンクリート(C-10)【R-1札幌】一回の打設量 20m3以下 (20:00~5:00)	回		4		< 1 回当り > コンクリート夜間割増【A-1札幌】(20:00~5:00) 一回の打設量 20m3以下	式	1	
型枠(閉塞部) (夜間)	一般型枠・小型構造物	m2		260		< 1 m2当り > 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=小型構造物;	m 2	1	
基礎材(閉塞部) (夜間)	再生骨材80mm級【R-1札幌】 t=10cm	m2		33		< 1 m2当り > 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 碎石の種類=碎石(各種); 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
コンクリート削孔工		式		1					

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
コンクリート削孔工 （夜間）	削孔径64mm以上77mm未満 削孔深50mm以上200mm未満	孔		50		< 1 孔当り > コンクリート削孔（コンクリート穿孔機） 削孔径=64mm以上77mm未満；削孔深さ=50mm以上200mm未満；	孔	1	
コンクリート削孔工 （夜間）	削孔径110mm以上128mm未満 削孔深50mm以上200mm未満	孔		31		< 1 孔当り > コンクリート削孔（コンクリート穿孔機） 削孔径=110mm以上128mm未満；削孔深さ=50mm以上200mm未満；	孔	1	
コンクリート削孔工 （夜間）	削孔径160mm以上180mm未満 削孔深50mm以上200mm未満	孔		1		コンクリート削孔（コンクリート穿孔機） 削孔径=160mm以上180mm未満；削孔深さ=50mm以上200mm未満；	孔	1	
コンクリート削孔工 （夜間）	削孔径180mm以上200mm未満 削孔深50mm以上200mm未満	孔		8		< 1 孔当り > コンクリート削孔（コンクリート穿孔機） 削孔径=180mm以上200mm以下；削孔深さ=50mm以上200mm未満；	孔	1	
舗装		式		1					
舗装工		式		1					
アスファルト舗装工 （歩道部）		式		1					
下層路盤（歩道部） （夜間）	再生骨材40mm級【R-1札幌】 仕上り厚 270mm	m2		4,300		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=270 mm；施工区分=2層施工； 材料=路盤材(各種)；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
表層(歩道部) (夜間)	再生細粒度アスコン(歩道)【S-1札幌】 舗装厚 30mm 1.4m未満 フライムコート	m2		2,990		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 mm ; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満) ; 瀝青材料種類=フライムコート PK-3 ; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
表層(歩道部) (夜間)	再生細粒度アスコン(歩道)【S-1札幌】 舗装厚 30mm 1.4m以上 フライムコート	m2		1,220		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m以上 ; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=30 mm ; 材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満) ; 瀝青材料種類=フライムコート PK-3 ; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
表層(歩道部) (夜間)	再生細粒度アスコン(歩道)【S-1札幌】 舗装厚 30mm 1.4m未満 フライムコート	m2		88		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 mm ; 材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満) ; 瀝青材料種類=フライムコート PK-3 ; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
アスファルト舗装工 (車道部)		式		1					
下層路盤(車道・路肩部) [電線共同溝](夜間)	再生骨材40mm級【R-1札幌】 仕上り厚 400mm	m2		2		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=400 mm ; 施工区分=2層施工 ; 材料=路盤材(各種) ; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
下層路盤(車道・路肩部) [電線共同溝](夜間)	再生骨材40mm級【R-1札幌】 仕上り厚 450mm	m2		914		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=450 mm ; 施工区分=3層施工 ; 材料=路盤材(各種) ; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生アスファルト安定処理【S-1札幌】仕上り厚 90mm 1.4m未満 プライムコート	m2		1,070		< 1 m2当り > 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm超100mm以下)(実=90 mm；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生アスファルト安定処理【S-1札幌】仕上り厚 90mm 1.4m以上3.0m未満 プライムコート	m2		120		< 1 m2当り > 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(100mm以下)(実数入力)=90 mm；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生アスファルト安定処理【S-1札幌】仕上り厚 90mm 1.4m未満 タックコート	m2		1,070		< 1 m2当り > 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm超100mm以下)(実=90 mm；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩部) (夜間)	再生アスファルト安定処理【S-1札幌】仕上り厚 90mm 1.4m以上3.0m未満 タックコート	m2		120		< 1 m2当り > 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(100mm以下)(実数入力)=90 mm；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度アスコン【S-1札幌】舗装厚 60mm 1.4m未満 タックコート	m2		1,070		< 1 m2当り > 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え70mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm超70mm以下)(実数=60 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度アスコン【S-1札幌】舗装厚60mm 1.4m以上3.0m以下 タックコート	m2		120		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m以上3.0m以下; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=60 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
基層(車道・路肩部) (夜間)	再生アスファルト安定処理【S-1札幌】舗装厚 50mm 1.4m以上3.0m未満 プライムコート	m2		2		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m以上3.0m以下; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
中間層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度アスコン【S-1札幌】舗装厚60mm 1.4m未満 タックコート	m2		1,070		< 1 m2当り > 中間層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え70mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm超70mm以下)(実数=60 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
中間層(車道・路肩部) (夜間)	再生粗粒度アスコン【S-1札幌】舗装厚60mm 1.4m以上3.0m以下 タックコート	m2		120		< 1 m2当り > 中間層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m以上3.0m以下; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=60 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
表層(車道・路肩部) (夜間)	改質Ⅱ型細密粒度GAPアスコン カー-【S-1札幌】舗装厚 30mm 1.4m未満 PK R-T(ゴム入り)	m2		2		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート(各種); 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
表層(車道・路肩部) (夜間)	改質Ⅱ型細密粒度 GAPアスコン カー【S-1 札幌】 舗装厚 50 mm 1.4m未満PKR -T(コム入り)	m2		1,070		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種 類=タックコート(各種); 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
表層(車道・路肩部) (夜間)	改質Ⅱ型細密粒度 GAPアスコン カー【S-1 札幌】 舗装厚 50 mm 1.4m以上3.0 m未満 PKR-T(コム 入り)	m2		120		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m以上3.0m以下; 1層当り平均仕上り厚 (70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上 2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート(各種); 費用 の内訳=全ての費用;	m 2	1	
ブロック舗装工		式		1					
特殊ブロック舗装 (夜間)	設置 30cm×30cm	m2		195		< 1 m2当り > 特殊ブロック舗装 作業区分=設置; ブロック規格=30cm×30cm;	m 2	1	
点字標(視覚障害者誘導標) (夜間)	溶融式 黄 W=300m m 機械施工 夜間 一般舗装に施工 供用区間 施工規 模200m以上 材料 費含む	m		2,448		< 1 m当り > 区画線工 点字標 溶融式 機械施工・夜間・一般舗 装・施工規模200m以上	m	1	
排水構造物工		式		1					
管渠工		式		1					

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
暗渠排水管 （夜間）	VUφ150	m		301		< 1 m当り > 暗渠排水管 作業区分=据付；管種別=直管；呼び径=50～150mm； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
集水桝・マンホール工		式		1					
プレキャスト集水桝（組立式） （夜間） 【施工見積】	再利用 II型B 下部桝+上部桝+鋼製蓋 800kgを超え1200kg以下	箇所		194		< 1 箇所当り > プレキャスト集水桝設置（組立式）【施工見積】 下部桝+上部桝+鋼製蓋 800kgを超え1200kg以下 基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；砕石の種類=砕石（各種）；費用の内訳=全ての費用；	箇所 m ²	1 1.2	
縁石工		式		1					
縁石工		式		1					
歩車道境界ブロック （夜間）	再利用 札幌市II型 基礎コンクリート【A-1札幌】 t=15cm 基礎砕石無	m		8		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=再利用設置；ブロック規格=各種（600mm超1000mm以下、50kg以上150kg未満）；基礎砕石規格=無し； 均し基礎コンクリート規格=生コンクリート（各種）；養生工の有無=有り；	m	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
歩車道境界ブロック (夜間)	Ⅲ型 基礎コンクリート 【A-1札幌】 t=28 cm 基礎砕石無	m		10		歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=各種(600mm超1000mm以下、50kg以上150kg未満)；m当り歩車道境界ブロック使用量(実数入力)=1.25 個/m；基礎砕石規格=無し；均し基礎コンクリート規格=無し； コンクリート 構造物種別=小型構造物；打設工法=人力打設；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=均しコンクリート；	m	10	
地先境界ブロック (夜間)	基礎コンクリート【A-1 札幌】 t=5cm 基礎砕石無	m		10		< 1 m当り > 地先境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=各種(600mm以下、50kg未満)；m当り地先境界ブロック使用量(実数入力)=1.67 個/m；基礎砕石規格=無し；均し基礎コンクリート規格=生コンクリート(各種)；養生工の有無=有り；	m	1	
植樹ブロック (夜間)	基礎コンクリート【A-1 札幌】 t=11cm 基礎砕石 t=10cm	m		10		< 1 m当り > 地先境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=各種(600mm以下、50kg未満)；m当り地先境界ブロック使用量(実数入力)=1.67 個/m；基礎砕石規格=砕石(各種)；均し基礎コンクリート規格=生コンクリート(各種)；養生工の有無=有り；	m	1	
区画線工		式		1					
区画線工		式		1					

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
ペイント式区画線 (夜間)	ペイント式 水性型 実線 15cm 加熱 白色	m		4,520		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=ペイント式水性型；豪雪補正の有無=有り；規格・仕様区分=実線15cm；時間的制約の有無=無し；未供用区間の場合の補正=無し；ペイント式塗料規格=加熱；塗料区分=白；費用の内訳=全ての費用；	m	1
ペイント式区画線 (夜間)	ペイント式 水性型 破線 15cm 加熱 白色	m		960		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=ペイント式水性型；豪雪補正の有無=有り；規格・仕様区分=破線15cm；時間的制約の有無=無し；未供用区間の場合の補正=無し；ペイント式塗料規格=加熱；塗料区分=白；費用の内訳=全ての費用；	m	1
溶融式区画線 トット線(夜間)	溶融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排 水性舗装無 白色	m		150		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=有り；規格・仕様区分=破線30cm；時間的制約の有無=無し；塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1
溶融式区画線 横断歩道(夜間)	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排 水性舗装無 白色	m		1,110		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=有り；規格・仕様区分=ゼブラ45cm；時間的制約の有無=無し；塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
溶融式区画線 停止線(夜間)	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		130		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=有り； 規格・仕様区分=ゼブラ 45cm； 時間的制約の有無=無し； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
溶融式区画線 路面標示(夜間)	溶融式手動 矢印・ 記号・文字 15cm換 算 厚1.5mm 排水 性舗装無 白色	m		230		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=有り； 規格・仕様区分=矢印・記号・ 文字 15cm換算； 時間的制約の有無=無し； 塗布厚=1 .5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=無し； 未 供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有 量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスフ ァルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
道路付属施設工		式		1					
作業土工		式		1					
床掘り (夜間)	土砂 小規模	m3		280		< 1 m3当り > 床掘り 土質=土砂； 施工方法=上記以外(小規模)； 費用の内 訳=全ての費用；	m 3	1	
埋戻し (夜間)	小規模 土砂	m3		210		< 1 m3当り > 埋戻し 施工方法=上記以外(小規模)； 土質=土砂； 費用の内 訳=全ての費用；	m 3	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋戻し (夜間)	小規模 土砂(防護砂)【P-13札幌】	m3		1		埋戻し 施工方法=上記以外(小規模); 土質=土砂; 費用の内訳=全ての費用; 砂【P-13札幌】路盤砂	m3	1	1.2
土砂等運搬 (夜間)	土砂 運搬距離 5.5km以下 DID有 現場～仮置場	m3		280		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=小規模; 積込機種・規格=ハック山積0.28m3(平積0.2m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=5.5km以下;	m3	1	
残土処理工		式		1					
積込(ルーズ) (夜間)	土砂 土量50,000m3未満 現場～仮置場	m3		230		< 1 m3当り > 積込(ルーズ) 土質=土砂; 作業内容=土量50,000m3未満;	m3	1	
積込(ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満 仮置場～最終置場	m3		40		< 1 m3当り > 積込(ルーズ) 土質=土砂; 作業内容=土量50,000m3未満;	m3	1	
土砂等運搬 (夜間)	土砂 運搬距離 6.0km以下 DID有 現場～仮置場	m3		230		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種・規格=ハック山積0.8m3(平積0.6m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=6.0km以下;	m3	1	
土砂等運搬	土砂 運搬距離 31.5km以下 DID有 仮置場～最終置場	m3		40		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種・規格=ハック山積0.8m3(平積0.6m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=31.5km以下;	m3	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
整地	残土受入れ地での処理	m3		40		< 1 m3当り > 整地 作業区分=残土受入れ地での処理;	m3	1	
道路照明設備工		式		1					
道路照明設備設置工		式		1					
道路照明灯設置 (夜間)	照明柱 GL8~12m 質量350kg以下 丸 テーパ-直線型ポール(1灯用直線型 めっき ベース式) 10m	基		67		< 1 基当り > 道路照明灯建柱 施工区分=高さ:GL8~12m 重量:350kg以下;トラッククレーンの深夜割増の区分=割増あり;トラッククレーン深夜割増率=1.23 無; 直線テーパ-ポール 10m (一灯用 一律 単独) I S I O B - S (ベース露出型 めっき)	基	1	
照明器具設置 (夜間)	タイプ KCE100-2 灯具脱落防止金具 含む	台		67		< 1 台当り > 照明器具取付 作業種別=照明器具取付; 作業内容による補正=新設; 高所作業車の持込貸与の区分=持込; LED道路照明器具 (建電協型H30年版) KCE 100-2 LED道路照明器具 (建電協型) 用専用ケーブル 直 線型ポール用	台 台 本	1 1 1	
自動点滅器取付(ポール取付) (夜間)	200V 10A バイメタル リレー式	個		49		< 1 個当り > 自動点滅器取付 (ポール取付) 作業種別=自動点滅器(ポール取付); 作業内容による 補正=新設; 自動点滅器 (光電式) バイメタルリレー式 200V 10A	個 個	1 1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ポール銘板 (材料費)	LED用 黄銅版(真鍮板)t=0.5mm ビス4本付	枚		67		< 1 枚当り > ポール銘板 黄銅合金 t=0.5mm 焼付塗装 ビス4本付	枚	1	
600Vビニル絶縁シースケーブル (材料費)	VV-R(SV)2.0mm×2C	m		637		< 1 m当り > 600Vビニル絶縁シースケーブル VV-R(SV)2.0mm 2心	m	1	
600Vビニル絶縁シースケーブル (材料費)	VV-R(SV)2.0mm×3C	m		469		< 1 m当り > 600Vビニル絶縁シースケーブル VV-R(SV)2.0mm 3心	m	1	
ポール内ジョイントボックス (材料費)	SB-502L(単相用)	個		18		< 1 個当り > ポール内ジョイントボックス 単相用 SB-502L	個	1	
ポール内ジョイントボックス (材料費)	SB-902B20-N(単相用)	個		49		< 1 個当り > ポール内ジョイントボックス SB-902B20-N(単相用)	個	1	
照明管理番号札 (材料費)	アルミ製 バント付 350×120	枚		67		< 1 枚当り > 照明管理番号札 アルミ製 バント付き 350×120	枚	1	
照明灯基礎設置工		式		1					
照明灯基礎設置 (夜間)	500mm×500mm×1700mm アンカーボルト 4-500L×M24	箇所		67		< 1 箇所当り > プレキャスト集水桝 作業区分=据付；製品質量(kg/基)=800kgを超え1200kg以下；基礎碎石の有無=無し；費用の内訳=全ての費用； コンクリートブロック(照明基礎) 500×500×1700mm アンカーボルト 4-ancL500×M24 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=碎石(各種)；費用の内訳=全ての費用；	基 個 m2	1 1 0.49	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
接地線 (材料費)	IV5.5mm2	m		188		< 1 m当り > 600Vビニル絶縁電線 IV 5.5mm2	m	1	
接地設置 (夜間)	D種 14φ×1500	極		67		< 1 極当り > 接地設置 作業種別=D種接地；基礎床掘3m以内の施工による補正=補正あり； 接地棒（リード端子付） 14φ×1500	極	1	
接地用保護管 (材料費)	合成樹脂可とう電線管 PF-S16mm	m		87		< 1 m当り > 合成樹脂製可とう電線管 PF-S管16mm	m	1	
配管・配線工		式		1					
地中配管 (夜間)	波付硬質合成樹脂管(FEP) 径 50mm	m		426		< 1 m当り > 波付硬質合成樹脂管（FEP）敷設 作業種別=道路沿い(地中)；作業内容による補正=新設；管規格=FEP 50mm；条数による補正=1 条；付属品率計上=0%；	m	1	
地中配線 (夜間)	CVケーブル(架橋ポリケーブル) 600V 3.5mm2×2C	m		50		< 1 m当り > ケーブル及び電線配線 作業種別=管内配線；規格=20mm以下；作業内容による補正=新設； 架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル 600V(CV) 3.5mm2 2心	m	1	
埋設標識シート敷設 (夜間)	300mm幅 2倍 水抜穴無	m		45		< 1 m当り > 埋設標識シート敷設 作業種別=埋設標識シート敷設； 埋設標識シート 300mm幅 2倍 電力・通信・ガス用 水抜穴無	m	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
構造物撤去工		式		1					
構造物取壊し工		式		1					
コンクリート構造物取壊し （夜間）	無筋構造物 機械 施工 低騒音低振 動対策必要	m3		656		< 1 m3当り > 構造物とりこわし 構造物区分=無筋構造物；工法区分=機械施工；時間 的制約の有無=無し；夜間作業の有無=有り；低騒音 ・低振動対策=必要；	m 3	1	
道路照明設備撤去工		式		1					
道路照明灯撤去 （夜間）	GL8～12m 質量350 kg以下	基		46		< 1 基当り > 道路照明灯撤去 作業区分=高さ:GL8～12m 重量:350kg以下；トラックク レーンの深夜割増の区分=割増あり；トラッククレーンの深夜割増 率=1.23 無；	基	1	
道路照明器具撤去 （夜間）	KSC-4	台		46		< 1 台当り > 照明器具取付 作業種別=照明器具取付；作業内容による補正=撤去 （不使用）；高所作業車の持込貸与の区分=持込；	台	1	
排水構造物撤去工		式		1					
暗渠排水管撤去 （夜間）	VU φ 150	m		301		< 1 m当り > 暗渠排水管 作業区分=撤去；管種別=直管；呼び径=50～150mm；	m	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャスト集水桝撤去(組立式) (夜間) 【施工見積】	再利用 II型B 下部桝+上部桝+鋼製蓋 800kgを超え1200kg以下	箇所		194		< 1 箇所当り > プレキャスト集水桝撤去(組立式)【施工見積】 下部桝+上部桝+鋼製蓋 800kgを超え1200kg以下	箇所	1	
ブロック舗装撤去工		式		1					
特殊ブロック撤去 (夜間)	30cm×30cm	m2		929		< 1 m2当り > 特殊ブロック舗装 作業区分=撤去;	m 2	1	
縁石撤去工		式		1					
歩車道境界ブロック撤去 (夜間)	処分	m		2,826		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=処分;	m	1	
地先境界ブロック撤去 (夜間)	処分	m		2,503		< 1 m当り > 地先境界ブロック撤去 再利用区分=処分;	m	1	
植樹ブロック撤去 (夜間)	処分	m		378		< 1 m当り > 地先境界ブロック撤去 再利用区分=処分;	m	1	
運搬処理工		式		1					
殻運搬 (夜間)	コンクリート殻(無筋) L=18.5km以下 DID有り	m3		656		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(無筋)構造物とりこわし; 積込工法区分=機械積込; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km) (DID区間有無)=18.5km以下; 費用の内訳=全ての費用;	m 3	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻処分 (夜間)	コンクリート殻(無筋)	m3		1,542		< 1 m3当り > 処分費 (t) 【21前田道路エコセンター東札幌】無筋コンクリート	t	1	
現場発生品運搬 (夜間)	既設照明灯 クレーン 装置付4～4.5t級2 .9t吊 L=3.0km以 下 DID有	t		9.9		< 1 t当り > 現場発生品及び支給品運搬 トラック機種=トラック[クレーン装置付]ハーフトラック4～4.5t級、吊 能力2.9t; DID区間の有無=有り; 片道運搬距離(km) DID有=3.0km以下; 現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック機種=トラック[クレーン装置付]ハーフトラック4～4.5t級、吊 能力2.9t;	t	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費		式		1					
運搬費		式		1					
仮設材運搬費	H鋼・覆工板 運搬 距離13.2kmまで 往復	t		14.7		< 1 t当り > 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=北海道・東北・北陸・中国・四国・九州; 片道運搬距離(実数入力)=13.2 km; 製品長区分=12m 以内; 運搬割増率=各種(実数入力); 運搬割増率(実 数入力)=0 無; その他の諸料金の有無=無; 仮設材等の積込み、取卸し費 作業区分=積込み、取卸し(往復分);	t	2	
		t					t	1	

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
仮設材運搬費	軽量鋼矢板 運搬 距離16.9kmまで 往復	t		7.6		< 1 t当り > 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=北海道・東北・北陸・中国・四国・九州； 片道運搬距離(実数入力)=16.9 km；製品長区分=12m 以内；運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実 数入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無； 仮設材等の積込み，取卸し費 作業区分=積込み，取卸し(往復分)；	t	2	
技術管理費		式		1					
道路施設基本データ作成費		式		1		技術員	人	1.75	
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地			
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=大都市（2）；除雪工補正=補正無； ICT施工補正=しない；週休2日の補正=4週8休以 上			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=大都市（2）；積雪寒冷地域区分=2 級地；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補 正=しない；ICT施工補正=しない；週休2日の補正= 4週8休以上			
工事原価		式		1					

見積参考資料

工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導警備員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分5 一般管理費等対象	管理費区分7 間接労務費対象労務費					
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）				事業区分	共同溝・電線共同溝			
細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9	
殻処分 (夜間)	アスファルト殻	t	1,210	○					
殻処分 (夜間)	コンクリート殻(無筋)	m3	1,542	○					

《積算条件資料》

工事名 一般国道12号 白石本通第二電線共同溝PFI事業(工事業務)

▼間接工事費について

【共通仮設費(率計上)・現場管理費の適用施工地域補正】

施工地域補正は、見積参考資料に示す施工地域区分とする。

【共通仮設費(率計上)・現場管理費の適用工種区分】

主たる工種は、工事数量総括表に示す工種区分とする。

【積算上の工期】

令和8年4月1日 ~ 令和15年3月31日 2557 日

【現場環境改善費(率計上／積み上げ)】

冬期日数 1059 日

現場環境改善費の対象	適用
率計上	<input checked="" type="checkbox"/>
積上計上	<input type="checkbox"/>
対象外	<input type="checkbox"/>

▼適用歩掛かりについて

下記工種の施工費については、表記の歩掛において積算を行っている。

対象工種	適用歩掛
施工歩掛見積書一覧表	

※現場実態を勘案し条件が違う場合においては設計変更する場合がある。

※請負工事に係わる「見積参考資料」の取扱い

「見積参考資料」は、発注者が予定価格の積算に使用した条件等であり、請負契約上拘束するものではない。

見積参考資料 別紙1

工事名 国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（工事業務）

下記項目の数量は、概略計算により算出したものであり、設計変更により精算することとする。

細別	規格	単位	数量		
埋設管路（夜間）	角型FEP管 径 130mm	m	16,286	→	7,000
埋設管路（夜間）	角型FEP管 径 100mm	m	3,882	→	2,000
埋設管路（夜間）	RR-VE 径 82mm	m	7,196	→	3,000
埋設管路（夜間）	RR-VE 径 54mm	m	8,856	→	4,000
埋設管路（夜間）	フリーアクセス-V管 径 150mm	m	2,204	→	1,000
埋設管路（夜間）	角型FEP管 R=5.0m 径 130mm	m	2,160	→	1,000
プレキャストボックス（夜間）	I型地上機器樹(函型) 内空1300×1800×3300-B 再生骨材80mm級【R-1札幌】	箇所	15	→	10
プレキャストボックス（夜間）	I型地上機器樹(函型) 内空1300×1800×5200-B 再生骨材80mm級【R-1札幌】	箇所	12	→	4
プレキャストボックス（夜間）	蓋部中間樹 φ750(t=125mm) H=450mm	箇所	55	→	20
蓋（夜間）	T-14 二重ロック構造 開発局認可入り 受枠含む φ750	箇所	55	→	20
歩車道境界ブロック（夜間）	Ⅲ型 基礎コンクリート【A-1札幌】 t=28cm 基礎碎石無	m	2,819	→	10
地先境界ブロック（夜間）	基礎コンクリート【A-1札幌】 t=5cm 基礎碎石無	m	2,503	→	10
植樹ブロック（夜間）	基礎コンクリート【A-1札幌】 t=11cm 基礎碎石 t=10cm	m	378	→	10
交通誘導警備員（夜間）	A	人日	1,900	→	190
交通誘導警備員（夜間）	B	人日	5,700	→	570

《見積参考資料 別紙2》

工事名 一般国道12号 白石本通第二電線共同溝PFI事業(工事業務)

▼労務調整

【工事数量総括表に、夜間と記載のある工種】

作業時間	夜間作業(20時～6時)	労務調整
8時間	内 8時間	1.50

※その他および市場単価、土木工事標準単価の労務調整は1とする。

見 積 参 考 資 料

業 務 名 国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（維持管理業務）

北海道開発局
札幌開発建設部

件名 国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業(維持管理業務)

直接人件費の組み合わせは、契約上拘束するものではない。

労務費	直接人件費(人)		備考
	点検技術者	点検技術員	
総合・個別点検(12ヶ月点検・日々通勤)	○	○	移動拘束費は旅費交通費の率に含まれる
計	52.25	52.25	

件名 国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業(維持管理業務)

旅費交通費

総点検箇所数 55 箇所

日々通勤対象箇所数 55 箇所

滞在対象箇所数 0 箇所

所在地補正係数 0.8

見積参考資料

業務名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（維持管理業務）（当初）					事業区分	電気通信施設点検		
						業務区分	点検業務		
費目・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
点検業務		式		1					
直接費		式		1					
労務費		式		1					
総合・個別点検(12ヶ月点検) (日々通勤)		回		20		< 1 回当たり > (個別) 低圧設備 点検周期=12ヶ月; 旅費交通費区分=率計上; 乗算補正=なし; マンホール(ハンドホール)=あり;	ヶ所	55	
直接経費		式		1					
旅費交通費 (率を用いた積算)		式		1		旅費交通費 (率分)	式	1	
安全費		式		1		安全費 (率分)	式	1	
技術管理費		式		1					
技術管理費		式		1		技術管理費 (率分)	式	1	
諸経費		式		1					

見積参考資料

業務名	国道12号白石本通第二電線共同溝PFI事業（維持管理業務）（当初）					事業区分	電気通信施設点検		
						業務区分	点検業務		
費目・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称		単位	数量
諸経費		式		1					
業務価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
業務費計		式		1					